

二重の鍵 (1959)

A DOUBLE TOUR
WEB OF PASSION

メディア 映画

ジャンル サスペンス 犯罪 ドラマ

製作国 フランス/イタリア

色彩 Color

時間 100分

初公開日 1960/05/10

公開情報 東和

【解説】

推理小説（米のS・エリンの『ニコラス街の鍵』が原作）の映画化なのに、その辺り、これが三度目のメガホンとなるシャブロルにはどうでもいらしく、ひたすらジャズ的な奔放な映像の中、登場人物各人の心理描写を、ところどころ、ヒッチコックの影響もあらわに展開していく奇妙な作品。南仏のマルクー家の広大な屋敷とその向かいの貸家が主な舞台。一家の主人アンリは家を借りる赤毛の芸術家レダと半ば公然と愛し合っている。妻テレーズがヒステリックにそれを非難するほどに彼女への愛は募る。が、二人の子供たちにはその関係を内緒にしておきたい。だから、事情を知る、妹エリザベートの婚約者――遊び人ラズロ（ベルモンド）にも家の中で好き勝手に振舞わせている。息子リシャールはマザコン気味。父の無情に神経を尖らせていた。そんなある午後、女中（B・ラフォン）の恋人が、レダの死体を発見する……。H・ドカエの色鮮やかなカメラと、レダの住まい（日本から帰ったという設定でその趣味が横溢した）の内装は美的な興味を引くが、作品の底はわりとすぐに割れる。技巧に走った手慰み――と言うには面白い映画だが…。

【クレジット】

監督	クロード・シャブロル	Claude Chabrol	
製作	レイモン・アキム	Raymond Hakim	
	ロベール・アキム	Robert Hakim	
原作	スタンリー・エリン	Stanley Ellin	
脚本	クロード・シャブロル	Claude Chabrol	
	ポール・ジェゴフ	Paul Gegauff	
撮影	アンリ・ドカエ	Henri Decae	
編集	ジャック・ガイヤール	Jacques Gaillard	
音楽	ポール・ミスラキ	Paul Misraki	
出演	アントネッラ・ルアルディ	Antonella Lualdi	レダ
	マドレーヌ・ロバンソン	Madeleine Robinson	テレーズ
	ベルナデット・ラフォン	Bernadette Lafont	ジュリー
	ジャン＝ポール・ベルモンド	Jean-Paul Belmondo	ラズロ
	ジャック・ダクミーヌ	Jacques Dacqmine	アンリ
	アンドレ・ジョスラン	Andre Jocelyn	リシャール
	ジャンヌ・ヴァレリー	Jeanne Valerie	エリザベート
	マリオ・ダヴィッド	Mario David	ロジェ
	ラズロ・サボ	László Szabó	ヴラド